



	正答率	無答率
本校	30.2	5.9
県平均	29.1	4.0
全国平均	26.7	7.1

【誤答傾向】

- ・どちらかの条件を満たしていない解答が多かった。
- ・問題点の読み取りについては、複数の資料を活用する必要があり、活用の仕方に課題があると思われる。



【対策例】

- ・自分の考えが伝わるように文章を書くには、図表やグラフなどを用いるなどして書き表し方を工夫することが大切である。授業の中で、自分の考えを「書く」という活動を意識的に取り入れるようにしていく。
- ・この問題のように「60字以上、100字以内」といった条件で自分の意見を書くことが求められる。そのため、めあてに対するまとめなどを条件に即して書く活動を学年の発達段階に応じて採用していく。

1 3(1)ア 問題の概要

前後の文脈から、漢字を正しく書き取る問題。学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くことができるかを問う問題。

問題 次の\_\_\_\_部アを漢字でていねいに書きましょう。

雑草取りを続けたのですが、アいがいに雑草が生えてきて、こまりました。

	正答率	無答率
本校	45.6	5.3
県平均	47.2	3.0
全国平均	52.8	4.8

【誤答傾向】

- ・前後の文脈から、正しい語句を類推することができていない。1割以上の児童が無答、配当漢字の習得ができてない。
- ・傾向としては、「以外」と混同している誤答が多かった。



【対策例】

- ・漢字の書き取り練習の際には、前後の文脈まで示した練習に取り組ませる。
- ・対策としては、新出漢字を学習する際に反復練習と並行して、日常の文章を書く活動の中で漢字を使う習慣形成を図ることも必要だと思われる。日々の学習活動で書く活動を意図的に設定し、その中で漢字の正しい使い方を習得させていく。

### 31 (1) 問題の概要

必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができるかどうかをみる。

インタビューの様子を読んで、質問をした理由として適切なものを選択する。

The image shows two pages of a transcript from an interview. The left page (page 1) shows a conversation between a student and an interviewer. The student asks a question about the interviewer's role, and the interviewer explains it. The right page (page 2) shows the interviewer's response to the student's question, mentioning their role as a teacher and their interest in the student's activities.

#### (問題)

(1) 谷さんが、下線部アのように質問した理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 相手の活動の予定を、より具体的に知るため。
- 2 相手の話の内容を、より具体的に知るため。
- 3 自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめるため。(正答)
- 4 自分の行動が可能かどうかを相手に確かめるため。

	正答率	無答率
本校	70.4	4.1
県平均	72.9	2.0
全国平均	73.6	3.7

#### 【誤答傾向】

- ・「2 相手の話の内容を、より具体的に知るため。」と解答している児童が多かった。
- ・誤答率が全国と比べて高い。

#### 【対策例】

- ・必要なことを質問するためには、聞いた事柄を基に分からない点や確かめたい点を質問することを理解させるようにする。相手に尋ねる活動を行う際には、こうした基本的な応答の仕方を徹底させる。
- ・インタビューの目的の一つが、自分の理解が正しいかどうかについて、相手に確かめるためのものであることを理解させる。

### 3(2) 問題の概要

必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容の中心を捉えることができるかどうかをみる。

#### (問題)

谷さんが、下線部イのように質問した理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 相手の活動の予定を、より具体的に知るため。
- 2 相手の話の内容を、より具体的に知るため。(正答)
- 3 自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめるため。
- 4 自分の行動が可能かどうかを相手に確かめるため。

	正答率	無答率
本校	68.0	4.7
県平均	72.9	2.3
全国平均	74.0	4.1

#### 【誤答傾向】

・「3」「4」と解答している児童が多かった。適切なメモを選択する資料の読み取りが十分でない様子が見られる。



#### 【対策例】

- ・必要なことを質問するとは、聞いた事柄を基に分からない点や確かめたい点を質問することなので、前述の問題と同様に基本的な応答の仕方を定着させる。
- ・また質問することが、相手の話の内容について、より具体的に知るためのものであることを捉えるようにする。

【算数】

1 (3) 問題の概要

伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる。

1

同じいすがたくさんあります。

(1) はるまさんたちは、いすをかたづけするために、下のように重ねています。

1きやくのいすの高さは、45 cm です。

下のようにいすを重ねていくと、高さが変わります。

いすの数と高さの関係を、下の表にまとめます。

いすの数(きやく)	1	2	3	4	5
高さ (cm)	45	51	57	63	A

表の中の A にはまる数を書きましょう。

小算-1

(3) いす4きやくの重さをはかると、7kgでした。このいす48きやくの重さは、何kgですか。求め方を式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

	正答率	無答率
本校	46.2	3.6
県平均	51.9	2.5
全国平均	55.5	3.4

【誤答傾向】


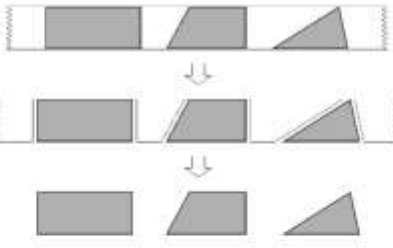



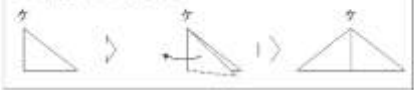



- ・正答を求めることができない。(84kg)
- ・式や言葉を使って解答を求めことに慣れていないせいか、表現の仕方に苦勞している様子が見られる。

【対策例】

- ・伴って変わる二つの数量の関係について、変化の特徴を考察して規則性を見付け、見付けた規則性を基に、筋道を立てて考え、知りたい数量の大きさを求めることができるようにすることが大切である。
- ・対策としては、授業の中で多様な問題解決の道筋を示し、それを子供同士で吟味するような活動を積極的に採用することで多様な考えにふれるよさを子供に感得させることができると思われる。また、自分の考えを式や図、言葉で表現する活動にも取り組んでいくことが求められる。

## 2(3) 問題の概要

切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときの角の大きさを書く。正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる。

<p>2</p> <p>えいたさんたちは、テープを持っていて、テープの上の直線と下の直線 は平行で、テープのはばはどれも等しくなっています。</p> <p>上の直線 下の直線</p>  <p>えいたさんたちは、下のようにテープを直線で切って、いろいろな図形を つくりました。</p>  <p>切り方によって、いろいろな図形ができますね。</p> <p>えいた</p> <p>小問-5</p>	<p>3</p> <p>えいたさんたちは、下のようにつくりに方で正三角形をつくります。</p> <p>【えいたさんのつくり方】</p> <p>① 下の図のように、テープを切って、下の直線が直なるようにします。</p>  <p>② 下の図のように、残りのはばの大きさを します。</p>  <p>③ 切って来たテープは、穴をさ通るための 直線で切ります。</p>  <p>④ 閉じて正三角形ができました。</p>  <p>小問-6</p>
<p>ゆいさんとわたるさんは、【えいたさんのつくり方】の③の図で、下 の角の角の大きさをそれぞれちがう大きさにしました。</p>  <p>ゆい</p> <p>私は、③の角の大きさを <math>20^\circ</math> にしました。切って開いた三角 形ケコサは、二等辺三角形になりました。</p>  <p>二等辺三角形</p> <p>わたる</p> <p>私は、切って開いた三角形を正三角形にするために、③の角の の大きさをゆいさんちがう大きさにして切りました。</p> <p>切って開いた三角形を正三角形にするには、③の角の大きさを何度にする ればよいですか。 答えを書きましょう。</p> <p>小問-7</p>	<p>4</p> <p>えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような角と長さの2つの 三角形をつくります。</p>  <p>上の角と長さの三角形の面積について、正しいことがわかりますか。 下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。 また、その番号を選んだかわり、言葉や数を述べて書きましょう。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 上の面積のほうが大きい。</li> <li>2 下の面積のほうが大きい。</li> <li>3 角と長さの面積は等しい。</li> <li>4 角と長さの面積は、このままでは比べることができない。</li> </ol> <p>小問-8</p>

	正答率	無答率
本校	26.0	3.6
県平均	22.2	2.4
全国平均	24.9	3.7

【誤答傾向】

- ・全国、県平均とも20%台なので、難易度が高い問題と言える。こうした問題への対応は難しいと思われる。
- ・正三角形の性質の理解が不十分である。

【対策例】

- ・図形の観察や構成などの活動を通して、図形の性質について考察し、示された図形の角の大きさを求めることができるようにすることが大切と思われる。
- ・この問題では、正三角形の意味や性質について理解しているかどうかを問うている。ここでは、ケの角の大きさを求めるために、テープを切って開いてできた三角形について、正三角形は一つの角の大きさが $60^\circ$ であることや、示された操作から、正三角形をつくるためにケの角の大きさが $60^\circ$ の半分になると捉えることが必要になっている。

2(4) 問題の概要

高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる。

	正答率	無答率
本校	23.7	3.0
県平均	27.6	3.0
全国平均	20.8	4.0

【誤答傾向】

- ・この問題も全国、県平均とも20%台なので、難易度が高い問題と言える。こうした問題への対応は難しいと思われる。

【対策例】

- ・基本図形の面積の公式の理解を深め、活用できるようにすることが大切である。
- ・この問題では、ある辺を底辺としたときに高さが等しくなる三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかを問うている。ここでは、二つの三角形の面積の大きさを判断するために、平行な二つの直線の幅はどこでも等しいことに着目し、示された三角形の底辺と高さを適切に捉えることが必要である。その際、二つの三角形の面積が等しい理由を記述する上で、次の二つの事柄を書くことが必要である。
  - ・三角形おと三角形かの底辺の長さが等しいこと
  - ・三角形おと三角形かの高さが等しいこと

### 3(4) 問題の概要

(2位数) ÷ (1位数) の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることができるかどうかをみる。

例) けんたさんは、 $66 \div 3$  の筆算について、次のように図を使ってふりかきました。

**【 $66 \div 3$  の筆算】**

手順1

$$\begin{array}{r} 3 \overline{)66} \end{array}$$

手順2

$$\begin{array}{r} 2 \\ 3 \overline{)66} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 0 \phantom{0} \end{array}$$

手順3

$$\begin{array}{r} 2 \\ 3 \overline{)66} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 0 \phantom{0} \end{array}$$

手順4

$$\begin{array}{r} 22 \\ 3 \overline{)66} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 0 \phantom{0} \end{array}$$

手順5

$$\begin{array}{r} 22 \\ 3 \overline{)66} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 0 \phantom{0} \\ \underline{0} \\ 0 \end{array}$$

**【けんたさんの説明】**

10を⑩、1を①で表して、60について考えます。

⑩ ⑩ ⑩ ⑩ ⑩ ⑩

① ① ① ① ① ①

6について考えます。

⑩ ⑩ ⑩ ⑩ ⑩ ⑩

① ① ① ① ① ①

**【けんたさんの説明】** さらにすると、 $66 \div 3$  の計算を、下のように変えることもできます。

$$\begin{aligned} 66 \div 3 &= (60 + 6) \div 3 \\ &= \frac{60}{\text{あ}} \div 3 + \frac{6}{\text{う}} \div 3 \\ &= \frac{20}{\text{い}} + \frac{2}{\text{え}} \\ &= 22 \end{aligned}$$

**【 $66 \div 3$  の筆算】 の手順2で十の位にたてた「2」は、上の式のあ、い、う、えのどの計算をした結果を表していますか。1つ選んで、その記号を書きましょう。**

手順2

$$\begin{array}{r} 2 \\ 3 \overline{)66} \\ \underline{6} \phantom{0} \end{array}$$

あ

い

う

え

	正答率	無答率
本校	37.9	3.6
県平均	44.1	2.7
全国平均	47.6	3.9

#### 【誤答傾向】

- ・わり算の手順とその意味についての理解が不十分なので、「う」を選択する児童が多かった。正答(い)
- ・全国平均よりも10ポイント近くも正答率が低い。



#### 【対策例】

- ・除法の筆算について、他の学習内容と関連付けて、計算の仕方について捉え直すことができるようにすることが大切である。
- ・この問題では、(2位数) ÷ (1位数) の筆算について、計算に関して成り立つ性質や図を基に、各段階の商の意味を考えることができるかどうかを問うている。ここでは、筆算の商の十の位にたてた「2」が、 $60 \div 3$  の計算をした結果を表しているため、 $66 \div 3$  の筆算を図と関連付けて求めるようにすることが必要である。



#### 4(1) 問題の概要

示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ問題。百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる。

	正答率	無答率
本校	36.7	1.2
県平均	43.5	1.6
全国平均	46.0	2.4

#### 【誤答傾向】

- ・割合について基本的な理解が十分でない児童がいる。
- ・ア、イ、オなどを選択している児童もいる。(正答:ウ、エ)
- ・全国平均よりも10ポイント近くも正答率が低い。

#### 【対策例】

- ・示された割合から、基準量を具体的に決めて、それに対する比較量を捉えることができるようにすることが大切である。
- ・この問題では、百分率で表された割合について理解しているかどうかを問っている。ここでは、百分率で表された割合である30%について、100人や10人を基準量としたとき、それらに対する比較量を捉えることが必要である。  
また、割合に関しては難しい内容なので、学習する際は基本的な内容を確実に理解させることができるように特に留意する必要がある。

#### 【考察】

国語と同様に問題の傾向としては、これまでと大きな変更は無い。思考力・表現力を問う問題が中心となっており、日々の授業の中で子どもの思考力・表現力を高める取組を継続的に行う必要性を感じた。また、今回の分析を通して感じたことは単に計算問題を解くのではなく、複雑な構造をもつ長文の問題を読み解く力も求められるのがこうした学力調査の特徴だということである。自明のことではあるが、子供たちが問題を正しく処理するためには「何が問われているのか」「どのように答えるのか」といったことをまずは理解する必要がある。

また、こうした問題への対応として、類似問題への慣れ「習うより慣れる」も必要な視点だと思われる。家庭学習や長期休業中の課題として、継続的な取組を行っていくのも一つの方法である。さらには、文章が長い問題を読み解く読解力も必要である。